

市民協働かわら版

No.64



十一月二十六日(火)令和元年度第七回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、五名(市民二名、職員三名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

秋も深まり、そろそろ「コートが恋しい季節」になりました。冬もすぐそこまで来ています。今回のサロン参加者は五名と少人数で始まりました。会場の埋蔵文化財センターの工事もほぼ終わり、屋根の修理も完了です。埋蔵文化財センターには海会寺の重要文化財が収蔵されています。お時間ある方、埋蔵文化財センターの見学がてら、ぜひサロンにおいでください。

◎第一回市民協働啓発講座

令和元年度の第一回市民協働啓発講座が十一月十八日(月)、サロンの会場でもある埋蔵文化財センターで開催されました。「あなたが主役 市民協働のまちづくり」と題して、和歌山大学副学長兼経済学部、足立基浩教授から、まちづくりについてのお話を頂きました。足立先生は和歌山大学の学生の皆さんと一緒に、実践的な街づくりに取り組んでおられます。日本全国の事例を面白く紹介いただきました。「まちづくりは『街の宝』を発見し、『磨き』『輝かせる』ことが大事。民間主体のまちづくりが重要です」との言葉に参加者が頷きました。

◎親しみやすい名称

市民協働啓発講座の名称を来年から変えませんかとの意見が出ました。場合によっては、サロンの名称も変更してみてもいいです。市民協働啓発講座って名前が固いとの意見です。来年の実施に向けて、新しい名称も考えてみたいと思います。みなさん、いい名前ないですか？

◎働きやすい社会

今回のサロンに、人権推進課の職員が参加しました。人権週間イベント紹介に始まり、子育てしやすい環境づくり、女性の社会進出について、男らしさ、女らしさについて、参加者で話しました。

◎顔が見える街づくり

街づくりをするうえで、大切なことは、お互いの顔が見えることです。サロンでは、泉南市という街の魅力を通して、お互いに楽しく仲間になるために集まっています。顔を見て、話をして、泉南市の宝を一緒に見つける。それは、街の風景であったり、食べ物であったり、歴史であったり、人であったり、ありきたりのものと思いがちであるものがお宝であったりします。ただ、一人で見つけることはできません。サロンに来て、仲間になってください。一緒に宝探しをしましょう！

「ふれあい交流祭り」

関西国際センターは、海外の様々な国の外交官や公務員、研究者に日本語研修を行っている田尻町にある施設です。

毎年、年一回、一般市



民にも開放される「ふれあい交流祭り」が十一月二十三日に開催され、泉南市からは泉南市ABC委員会が参加しました。りんくう翔南高校ボランティア部の皆さんにもお手伝いいただき、ヨーヨー釣りや泉南カルタを紹介しました。暑いくらいの陽気のなか、外国人向けに、着物の着付け、お茶の接待など日本文化が紹介され、外国人研修生のブースでは海外の文化に触れることができます。国境を越え、人種を越えた交流にたくさんの方が笑顔で楽しんだ一日でした。研修生たちが母国に帰り、日本で過ごした日々を懐かしく思い出しながら、日本文化を広めてくだされば嬉しいですね。

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一丁目

TEL：〇七二一四八三〇〇〇四

(令和元年十二月十二日発行)